

稲田の子

卒業式テーマ『はばたけ 希望あふれる未来の空へ』 明日いよいよ卒業式

校長 榎澤 実

稲田の子どもたちはこの1年間、教室での教科書をつかった学習はもとより、友達、先生等様々な人とのふれあいや交流を通して、多くの学びと思い出をつくったものと思われまふ。1年を振り返るこの時期、学校ではいつも子どもたちにどれだけの学びの提供と成長の手助けができたかを考えまふ。これは教師の独りよがりではなく、客観的に子どもによりよい関わりができたかを自問するわけだす。成果と課題を学校と家庭が本人と共に認識し合ひ、子どもたちのによりよい成長を願ひ、次なるステップへ子どもの学びをつなげていきます。本日発行された『あゆみ』は、そんなおふさんの成長の足跡と次に向けた『よさを振り返る資料』としてご家庭で活用してほしいと願っています。

さて、雪解けが急速に進み、春の足音が聞こえ始めてきました。日中の温かさもこちよ時期となってきた中、こここまで卒業式へに向けた準備や練習が着々と進められてきました。1～5年生も6年生と同様、節目となる卒業式だす(会場の都合上、1年生は卒業式前に廊下で卒業生を見送り、式には参加しませぬ)。緊張感を徐々に高めながら練習に臨み、呼びかけ、合唱等、どの子どもたちも自分の役割を認識しながらしっかりとがんばっています。また、式場内はもちろ廊下等、各学年が分担して、心がこもった飾り付けがなされ、卒業を祝福する雰囲気も大いに高まってきたいます。

毎年お伝えしていることだすが、卒業式(卒業証書授与式)は儀式的行事として、厳肅な雰囲気の中、立ち方や座り方、挨拶、返事、歌唱、礼、拍手の仕方等、式に臨む心構えや態度を育てる場にもなります。主役である卒業生も、そして引き継ぐ在校生も、1年間の締めくくりに向けて、子どもたちの姿に1年間の大きな成長を感じさせられる感動のある式に向けての練習が仕上げられてきました。いよいよ明日24日が本番、平成28年度稲田小203日の総決算だす。



背筋ぴんと伸ばし、緊張感あふれる様子で式練習に臨む6年生。(中央写真) お祝いの飾り付けもきれいにしあがってきました。

第3回学校評議員会から 稲田小の強力な応援団

いつもいつも貴重なご意見ありがとうございます！！

今年度最後となる3回目の学校評議員会が過日行われました。今回は保護者のみなさんに協力いただきました『学校改善に向けたアンケート』の分析結果を中心に、今年度の特徴的な取組などにご意見、ご感想をお寄せいただきました。評議員のみなさんからいただいた声の一部をご紹介します。

- 学校評価アンケートの結果から「学校が楽しい」と答える児童が多く、学校の取組が成果につながっていることへの評価。(2の評価の子どもたちにも目をむけてほしい)
- 経験の浅い先生方を育成するため、学校全体で組織的に人材育成に取り組んでいることへの評価。
- 全教職員での連携・協働のもと、継続して人材育成に取り組む学校に期待。
- 学力向上への評価。先生方が一生懸命子どものことを考えて指導に取り組まれていることへの敬意。
- 一人ひとりの子どもを大切に、自己肯定感を満たす指導を心がけていることへの評価。

平成29年度は、30年度からの新しい学習指導要領の全面実施(道徳や外国語活動の教科化等)に向けた取組が本格化します。今後も時代の変化に対応しながら、稲田っ子のために、地域・家庭・学校が協働で子ども達の健やかな成長を願って、よりよい学校改善に努めて参ります。引き続きご理解ご支援をよろしくお願ひします。1年間ありがとうございました。



平成28年度稲田小学校 学校評議員
宮部 恭子 氏 藤井 康裕 氏
明見 恵 氏 戸塚 義明 氏
細野 正弘 氏

今年度で宮部評議員は3年間の任期満了により退任されます。長きに渡り、本校PTAとして、また学校評議員として、本校を支えていただきましたことに感謝申し上げます。今後も、稲田小を見守っていただきますよう、よろしくお願ひします。

平成28年度 稲田小学校5年生 全国体力・運動能力調査から

今年度全国の全ての小学校5年生（中学校は2年生）を対象に行われた全国体力運動能力調査の結果や分析された傾向については、既に報道等でもご存知の通りですが、本校の結果や傾向に概要についてお知らせします。

（1～3年生は 50メートル走、上体起こしの2種、4、6年生については5年生と同様で全種目に取り組んでいます）

<体力テスト調査内容> 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20メートルシャトルラン、50メートル走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ	体力点合計
男子	△	△	△	◎	△	△	◎	○	△
女子	◎	○	△	◎	△	△	◎	○	○

	身長	体重	高度やせ	やせ	普通（正常）	軽度肥満	中度肥満	高度肥満
男子	△	○	△	△	◎	○	○	△
女子	◎	○	△	△	◎	△	△	△

◎全国・全道を超えた項目 ○全道もしくは全国を超えた項目 △全国・全道を下回る項目

<調査結果全般から>

- 男女とも種目によりばらつきがみられますが、総じて女子の結果が全国全道平均同等程度となっています。
- 男女とも反復横跳び・立ち幅跳びが全国全道平均を上回ります。（立ち幅跳びは平成27年度も全国より上）
- 男女とも、普通（通常）の割合が最も多く、やせ・肥満の傾向は見られません
- 「スポーツをすることが好き」「スポーツは大切なものだ」と答える児童が全国全道を上回ります。
- 1週間の総運動時間は全国全道よりも上回っています。
- 男女とも長座体前屈・20mシャトルラン・50m走に課題が見られます。
- ビデオやDVDを見たり、聞いたりする時間が長い傾向が見られます。



<今後に向けて>

- 運動に対する興味関心が全般に育まれてきていることは、学校での体育の授業での「達成感」「練習を重ねればできるという自信」を体感できる指導の工夫や長期休業中の「学ぼう会遊ぼう会」での取組の成果とも言えます。
- 体力づくりの取組は本校の特色ある教育活動の一つです。『絆事業』の一環で始まった「プログラム10」の取組など子どもたちが日常的に取り組める運動プログラムや「ランランコース」「わくわくルーム」の活用の充実を図り、今後も学校全体で自ら進んで体を動かすことができる環境づくりに努めていきます。
- 外部講師による積極的な出前授業の展開や、話し合い活動等も取り入れた体育の授業改善などに努め、運動に対して前向きにとらえられるような個別の指導も大切にしていきます。
- 今年度から4年生以上は体力運動能力調査の結果を一人一人に配布し、体力向上に向けた現状や課題を学校と家庭が共有できるようにしました。今後は結果の配布とともに、子ども達が自分で目標を設定して体力づくりに励むことができるような動機づけや大切にしていきます。
- 体力・運動能力の向上は、生活習慣や食生活との関連等、また学力の定着や向上に関連が深いことから、これまでと同様に引き続き数値目標を立てながら、各種の取組を進めるとともに、児童の実態の詳細な把握に努めます。



「氷のお面」の思い出と
ポストカード贈る
北海道新聞社でつくられた「氷のお面」プロジェクト実行委員は、稲田小を訪れた。同小の佐藤梨菜さん（7）は「空想の世界を思い描き、大切にしたい」と喜んでいた。（坂口光穂）

いなっ子の風景

平成29年3月19日 北海道新聞より
ドを児童83人に贈呈した。受け取った児童は「見て私が作ったお面だよ」と互いにカードを見せて喜んだ。ポストカードは、帯広市アサマ小学校の1、2年生が帯広市の小学校を25校約1500人分の氷のお面を撮影し作成した。帯広・稲田小で行われた贈呈式で横山聡北海道新聞帯広支社長が「氷のお面」として、氷のお面の作成風景をまとめたビデオを上映し、冬の思い出に浸った。

6年生全員応募した帯広市学校保健会ポスターコンクールで、小岩朋菜さんと三浦啓斗くんが優秀賞を受賞しました。おめでとうございます。全員に参加賞（蛍光ペン3点セット）もいただいています



春休みは進級進学に備えて

本日、春休みチャレンジテストと生活リズムチェックシート、6年生には別々に南町中学校さんからの入学準備宿題を配付しました。また、帯広市教育研究所からのホームページからダウンロードできる「家庭で活用 小学校及び中学校教材」の活用についてのご案内も差し上げております（別途プリント配付済み）。とかく生活が活れやすく、通常はあまり宿題が課されないことが多い春休みですが、取組を進めながら4月からの生活に向けてしっかり準備が出来るといいですね。